
嘘吐き少年と探偵部

日高鳴海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

嘘吐き少年と探偵部

【Zコード】

Z8832Z

【作者名】

日高鳴海

【あらすじ】

やあ、初めてまして興津惣介です。この物語は主人公である僕が當時のライトノベルのようにチートな能力を持ち、最強の運動能力に天才的な頭脳、そして様々な女の子にモテてモテてモテまくる物語です。

【冗談だけね】

プロローグ

僕の名前は興津惣介 おきつそうすけ 。

どこにでもいる普通の高校生だ。中肉中背で勉強も中クラス。

そんな平凡な僕には幼なじみがいる。幼なじみは絵に描いたような優等生でいつも僕を起こしにくる厄介な存在だ。

友人には悪友に女友達。女友達はサバサバしていくなかなか仲が良いと思う。女友達も結構な美少女であるが男らしい面があり女の子の憧れの的だつたりする。

僕が通う学校の生徒会長は学校のアイドル的な存在で、非公式ファンクラブも存在する。生徒会長は僕の従姉で、凛とした雰囲気を持っているが僕と一緒に時は甘えん坊で困ったものだ。

クラスメートの委員長は僕が女の子と話していると強く当たつたりしてくるツンデlena女の子。

委員長も美少女であり、眼鏡もとても似合っている。

クラスの担任は僕と血の繋がった実の姉であり、担任も僕に甘えてくるブラコン姉で、僕に依存した傾向があるため、そろそろ弟離れも必要なんじやないかなと思う。

最近転校してきた金髪の美少女は滅茶苦茶胸がデカい。外人だとフレンドリーな人が多いらしく、転校生も例外ではなくよく僕の背中に引っ付いてきたりする。

僕の周りには女の子がいっぱい。

最高！ ハーレム生活！

美少女に囲まれたこんな日常。
それが僕の日常だ。

冗談だけどね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8832z/>

嘘吐き少年と探偵部

2011年12月27日20時54分発行